



入澤 弘子

IRISAWA HIROKO

1947年 妙高市出身

1968年 柏崎市内の中学校へ教師として赴任

風にそよぐ新緑の木々、オルレアやジギタリス、デルフィニウムなどが可憐な花を咲かせるガーデン。いろんな花がお互いに寄り添いながら、自分の出番がきたら次々に咲いていく。「風に揺れるようなたおやかな花が好き」という入澤さん。イギリス・コッツウォルズ地方の風景にあこがれて庭作りをしているという。大切に育てた庭を眺めながら過ごす時間はまさに至福のひと時だ。

柏崎・刈羽エリアで昨年からはまった、柏崎・刈羽オープンガーデン。今年は24のオーナーの方々が丹精込めた自慢の庭を披露し、入澤さんの庭もその一つとして公開している。

この活動を主管するのは、発足から54年になる柏崎植物友の会。入澤さんは10年ほど前から理事を務め、柏崎・刈羽オープンガーデンを立ち上げるべく実行委員として携わってきた。

植物友の会は、自然や植物の好きな方たちが集まり1965年にスタート。会員は現在360名。柏崎夢の森公園内の植物や桜の手入れ、海浜植物の外来種除去、春の山野草展、会報発行などの活動を続けている。

会員の減少対策と多くの人達から植物に親んでもらいたいと友の会の研修にオープンガーデンめぐりを取り入れたのは8年前。見附のイングリッシュガーデンやバラで

有名な中野市の一本木公園、上越オープンガーデンなどもめぐってきた。そのうちに会員から、「気が付いたら柏崎にもいいお庭がたくさんあるよね。柏崎でもやってほしい」、そんな声にこたえて、柏崎植物友の会の活動として実行委員会を立ちあげた。入澤さんは、8名の実行委員と力を合わせて、柏崎市・刈羽村地域で庭作りを頑張っている方を探し、ひとり一人に声を掛けて参加を募り関係機関に協力をお願いしながら準備を進め、柏崎・刈羽オープンガーデンはようやく実を結んだ。

さて、入澤さんの名前や写真を見て気付いた方も多いことだろう。入澤さんは音楽教師として柏崎市内の中学校に長く勤務され、合唱や吹奏楽の顧問としても活躍されてきた。現在は柏崎市民合唱団員、ボランティアコーラスA&Iの一員として市内のコミュニティセンターやくらしのサポートセンターえきまえなどで美しい音楽を響かせている。

入澤さんにはI・F・Hという3つの心のビタミンがある。Iは愛猫、Fはフラワー、Hのハーモニーは調和であり、庭に咲く花々の調和や今まで関わってきた多くの方たちとの出逢いや関係性にも通じているという。

柏崎・刈羽オープンガーデンは、日本庭園や山野草だけの庭、イングリッシュガーデンなどそれぞれの庭が個性的でバラエティ豊かなところが魅力。庭や植物をきっかけに多くの人たちの交流が深まることを願っている。

2019年 第2回 柏崎・刈羽オープンガーデン



期間：2019年春～7月頃まで

主管：柏崎植物友の会

柏崎・刈羽地域の24のメンバーの庭を公開。

訪問時間は午前10時～午後4時。

(庭ごとにオープン日が異なります)

*ガーデンマップ(1部100円)をご覧ください

お問い合わせ
柏崎植物友の会 (0257-24-7926)
または、090-2546-3381(入澤)
090-2721-9437(佐藤)まで